



## テーマ

## 思い込みからの脱却

## ■フォークボールの打ち方

先日、知り合いのAさんと電話で話をする機会がありました。Aさんは大手企業の人事採用担当者です。管理職に昇進し、優秀な人材を採用すべく張り切っている様子でした。Aさんから相談されたことは次の通りです。「これまでと違うタイプの優秀な人材を見つけるアイデアはありますか？」

いきなり直球の質問でびっくりしましたが、私がアドバイスしたことは次の通りです。

「そんなの簡単ですよ。これまで書類選考で落とされたような人材を採用すればいいだけです。ただ注意すべき点は、採用した際の上司は同じ境遇を経験した人にするのが条件です。例えば転職を繰り返してきた人を採用したら、社内で過去に転職を繰り返しながらも活躍している人を直属の上司にすると、うまくいく確率が高まります」

Aさんはすこし考えた後で、「当社では難しいかもしれませんね」とつぶやきました。その道のプロが難しいと判断することは、もしもできる方法を編み出せば一生食べていけるくらいインパクトのあるノウハウとなります。

私がおのちでAさんに伝えたことは次の通りです。「これまで書類選考で落としてきた人を採用し、活躍できるまで育てることができれば、その育成ノウハウで退職後もコンサルタントとして仕事ができます。定年退職後の独立を視野に入れて、今から真剣に取り組んでみてはいかがですか？」

仕事で成功する方法の一つは、今まで誰もやったことがないことに真剣に取り組むことです。その際に大切なことは「世間の常識に惑わされないこと」です。

元プロ野球選手の落合博満氏が、ある試合のテレビ解説者をしていた時、アナウンサーから「今日のピッチャーのフォークボールは切れがありますね！あれだけ鋭く落ちるボールを落合さんならどう打ちますか？」と聞かれた際に落合氏が答えたことは次の通りです。

「ああ、あのフォークは打てますよ。あの球は鋭く落ちるから、落ちてから打ったのでは打てない。だから、落ちる前に打てば良いんですよ」（『深く考える力』田坂広志著 PHP新書）

私はこの話を聞いた時に、落合氏が三冠王を達成した理由が分かりました。もし他の選手から「フォークボールを打つ秘訣を教えてください」と言われて、「落ちる前に打てばいいだけです」と答えたら、「馬鹿にするな」と激怒されるでしょう。

他の選手が「そんなの無理」と思うようなことを、落合氏は「どんなバッティングフォームなら、落ちる前に打てるのだろう」と真剣に考えて日々努力したからこそ、誰もできていないことを実現できたのだと考えます。

これまで「そんなの無理」と思って真剣に取り組んでこなかったものにこそ、未来を切り開くヒントが隠されています。見えない敵は、まさに自分自身の思い込みです。

## ■逃げ道の必要性

これは20代の頃に出会ったBさんの話です。Bさんは複数の会社を持つ起業家で、サラリーマン時代の私にとって憧れの存在でした。

私は大胆にも当時考えていたビジネスプランをBさんに郵送し、「成功するかどうかアドバイスを頂きたい」と申し出ました。

それから1週間後、Bさんから手紙が届いてびっくりしました。Bさんのアドバイスには「必ず逃げ道を作っておくこと」が書かれていました。なぜ起業する前から逃げ道を用意しないといけないのか、当時の私には全く理解できませんでした。

Bさんのアドバイスには従わず、会社を辞めて個人事業として独立しましたが、壁にぶつかって計画通りに進まず、精神的に追い詰められました。

夜になってもなかなか眠れず、いったん眠ってもすぐ目覚めてしまい、夢から覚めた後の何とも言えない焦燥感と底なしの不安感で押しつぶされそうでした。

ある日の深夜、Bさんの手紙を読み返して、Bさんが私に伝えたかった「本当の意味」をやっと理解しました。「必ず逃げ道を作っておくこと」の意味合いは、精神的な安定を確保するためであり、失敗しても再起を果たすためでした。

結果としてBさんのアドバイス通り、致命傷になる前に事業から撤退し、ゼロからやり直すことにしました。自言満々で脱サラしたのに、1年もしないうちに貯金を使い果たしてブータローになった自分が情けなく、ひどく落ち込みました。

そんな中、Bさんから連絡があり「一緒にメシでも食おう」と誘っていただきました。寿司屋のカウンターで「なんでも好きなものを食べていいよ」とBさんから言われて食べた「大トロ」はトロけるようにおいしく、事業に失敗した惨めな気持ちとうれしさを涙がこぼれました。

その時、Bさんに言われたことは次の通りです。「僕も20代で起業して一度失敗している。だから20代でチャレンジして失敗した人を見ると放っておけないんだよ」

それからBさんと親しくなり、事業立ち上げのノウハウをどん欲に吸収しました。20代の頃にBさんと出会ったことが、私にとって人生を変えるきっかけになりました。

もしも今、まさに人生のどん底であるなら、「過去に同じ失敗や苦しみを経験し、それを乗り越えた人」を探すべきです。

素直な気持ちで経験者の知恵に触れた時、やっと自分自身の思い込みから抜け出すことができます。